

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東筑紫短期大学
設置者名	学校法人東筑紫学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	美容ファッションビジネス学科美容師コース	夜・通信			5	7	7	—
	美容ファッションビジネス学科ファッション・ビジネスコース	夜・通信		2	5	7	7	—
	保育学科	夜・通信			7	7	7	—
	食物栄養学科	夜・通信			7	7	7	—
(備考) 2020年度開講科目の総計。保育学科および食物栄養学科は教職科目を含む。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学ホームページ「情報公開」(https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html)、「教育情報の公表」、「3.修学上の情報等」、「(7)『実務経験のある教員による授業科目』の一覧表及び授業計画書」の項にて学科・コース毎に公開(令和2年度は7月以降公表予定)。</p> <p>①美容ファッションビジネス学科美容師コース ②美容ファッションビジネス学科ファッション・ビジネスコース ③保育学科 ④食物栄養学科</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東筑紫短期大学
設置者名	学校法人東筑紫学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ（情報公開）にて公表
https://www.knwu.ac.jp/about/pdf/2_2.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	私立大学教授	H29.10.1～ R3.9.30迄	学校法人の運営に外部からの多様な意見を反映させる。
非常勤	株式会社常任監査役	R2.6.1～ R4.5.31迄	学校法人の運営に外部からの多様な意見を反映させる。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東筑紫短期大学
設置者名	学校法人東筑紫学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・ 授業計画書（シラバス）の作成過程</p> <p>担当部署：教務部教務課</p> <p>①当該年度の前年度1月 専任および兼任教員にシラバス作成の告知</p> <p>②同～2月 新シラバスの原稿回収および編集</p> <p>③同～3月 各学部学科長および教務部教務課担当者による確認・校正 →授業内容や回数、担当者が省令ならびに本学カリキュラムポリシー（※）を満たすか確認。</p> <p>④新年度4月 入学式後のオリエンテーションにて公開。 →本年度より学生専用ポータルサイト UNIPA にて電子公開。 冊子媒体としては配布せず。 →本年度は休業要請に伴い、全体の公開は4月末および5月初日に行った。</p> <p>※カリキュラム・ポリシーについては様式第2号の4における「教育課程の編成及び実施に関する方針」にて後述。</p> <p>・ 授業計画書（シラバス）の主な内容</p> <p>①科目・担当者名、実務家教員の別</p> <p>②授業形態（必修／選択の別等）、開講学年・学期、単位数、ナンバリング（カリキュラムマップに沿った当該科目の位置づけ）</p> <p>③授業概要、到達目標</p> <p>④授業計画とその事前事後学習に関する指示 （当該回の概要や事前事後で行うべき学習内容・時間等）</p> <p>⑤評価方法（試験／レポート／実技等の別、総合評価の場合は評価方法の内訳）</p> <p>⑥テキスト、参考図書</p> <p>⑦担当教員から受講者への履修に関するアドバイス</p> <p>⑧オフィスアワー等</p>

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本学ホームページ「情報公開」(https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html)、「教育情報の公表」、「3.修学上の情報等」、「(3) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画（シラバス又は年間授業計画の概要）」の項において学科・コース毎に公開。</p> <p>①美容ファッションビジネス学科 美容師コース</p> <p>②美容ファッションビジネス学科 ファッション・ビジネスコース</p> <p>③保育学科</p> <p>④食物栄養学科</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>①学修成果の評価および単位認定等について</p> <p>試験等により科目担当教員が成績を判定したのち、学科ごとに集約。学期末および追再試等の後、学科会議にて最終的な単位認定を行う。</p> <p>各年度末には成績判定会議（卒業年次は卒業判定会議）を行い、進級や卒業要件について判定。判定には東筑紫短期大学『学生便覧』に記載する本学履修規定および成績考査規定、学位規定等が用いられる。</p> <p>②学習意欲の把握について</p> <p>1) 学科レベル</p> <p>クラス担任制を採用しており、学生の出欠については科目担当教員、担任、教務課員と常時連携、欠席や遅刻が複数回にわたる場合は警告等を行う。</p> <p>学科独自の施策としては、学期の中途に都度当該年度の修得単位状況や GPA を集計。各学生の履修・成績状況を把握し、本人および保護者へ通知する。履修状況や学習意欲の低下が見られる場合は、個別に指導を行う（保護者参加もあり）。</p> <p>2) 大学レベル</p> <p>年度末、教務課から本学所定「成績通知書」を保護者に発送。当該年度までの成績状況を通知し、各家庭との連携に努めている。</p> <p>また、各学期末にはすべての開講科目で授業評価アンケートを行う。学生による教員評価だけでなく、授業理解度などの評価項目を設定し、自己の学修状況に関する振り返りにも活用している。同アンケートは、集計の後、本学図書館に一般開架しており、自由に閲覧できる。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

①概要

本学学生便覧における「履修規定」の一部として「GPA 制度について」の項目を設定。GP (グレード・ポイント)、GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 値の算出方法や活用方法を明記している。

②算出方法

$$GP = \frac{100 \text{ 点法による評点} - 55}{10}$$

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{当該学期の【履修登録した科目の GP} \times \text{単位数】の総和}}{\text{当該学期の【履修登録した科目の単位数】の総和}}$$

$$\text{通算 GPA} = \frac{\text{入学時から今学期までの【履修登録した科目の GP} \times \text{単位数】の総和}}{\text{入学時から今学期までの【履修登録した科目の単位数】の総和}}$$

③指標の実施・活用方法

各種表彰や CAP の規定緩和、本学独自の特待制度における条件継続の判定資料として、また既述の「成績通知書」における通知資料として活用。

学修面では、各学期 GPA の継続不良者に対し学長ほか教員による指導理由となるほか、本年度以降、修学支援に関する根拠資料としても活用される。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

本学ホームページ「情報公開」
(<https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html>)、「教育情報の公表」、「3.修学上の情報等」、「(4) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準 (必修・選択・自由科目別の必要単位修得数及び取得可能学位)」の「学位規程・履修規定・成績考査規程」
(https://www.hcc.ac.jp/about/pdf/3_4_2.pdf) にて公開。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1. 卒業の認定に関する方針・公開

本学は建学の精神に基づく以下のディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ、学校案内冊子、学生便覧等で公開している。

①美容ファッションビジネス学科

1) 美容師コース

1. 幅広い教養科目の学びを通して、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けている
2. 美容師専門分野を深く理解し、求められる職場において貢献できる実践力を身に付けている
3. 現代社会に求められる多様な技術を修得し、美容師業務に活用できる力を身に付けている
4. 美容師養成の中でさらに、美容師としての技術、ならびに美容に関わる職業人としての幅広い知識を身に付けている
5. 美容師養成の中でさらに、美容分野に深くかかわるスペシャリストとしての力を身に付けている

2) ファッション・ビジネスコース

1. 幅広い教養科目の学びを通して、自らの資質を向上させ、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けている
2. 現代社会に求められる多様な知識や技術を修得することで、社会生活における活用能力を身に付けている
3. ファッション専門分野を深く理解し、基礎知識及び技術を修得することで、就業に向けた実践的能力を身に付けている
4. ファッション分野を主軸としたスキルアップを図ることで、求められる職場での幅広いアプローチ能力を身に付けている
5. ビジネス専門分野を深く理解し、基礎知識及び技術を修得することで、就業に向けた実践的能力を身に付けている
6. ビジネス分野を主軸としたスキルアップを図ることで、求められる職場での幅広いアプローチ能力を身に付けている

②保育学科

本学科では、東筑紫短期大学が定める学科の教育目標を達成するために設定した教育科目を履修させるとともに、各免許や資格に必要な単位を修得させます。そして、以下のような資質や能力を備えた学生に短期大学士（保育学）の学位を授与します。

1. 本学の建学の精神である「筑紫の心」－勇気・親和・愛・知性の四つの心－を基に、使命感、協調性、教育的愛情をもって、地域社会に貢献しようとする人
2. 子どもを理解し、支援する保育者として求められる職業倫理観や保育に関する基礎的・基本的な事項など専門的な能力を修得している人

3. 必要な専門的知識・技能とその活用能力やコミュニケーション能力を生かし、さらに保育者としての自覚をもって子どもの自己特性を大切にした対応ができる人
4. 子どもを取り巻く家庭や地域との連携・協力の重要性を理解し、質の高い保育の実践を求めて学び続ける人

③食物栄養学科

本学科の教育目標を達成するために栄養士免許取得に必要な科目を履修し、以下のような要件を満たす者に短期大学士（食物栄養学）の学位を授与します。

1. 幅広い教養科目の学びを通して、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けている
2. 栄養士専門分野を深く理解し、求められる職場において貢献できる実践力を身に付けている
3. 現代社会に求められる多様な技術を修得し、栄養士業務に活用できる力を身に付けている
4. 栄養士養成の中でさらに、小・中学校の栄養教諭としての資質を身に付けている
5. 栄養士養成の中でさらに、医療秘書実務士としての技術、ならびに医療に関わる職業人としての幅広い知識を身に付けている
6. 栄養士養成の中でさらに、食分野に深く関わるスペシャリストとしての力を身に付けている

2. 卒業の認定に関する適切な実施状況

各学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本様式第2号の3「2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。」に記載した通り、本学履修規定および成績考査規定、学位規定等に則り卒業判定会議を実施。当該基準を満たさない学生は、基準を満たすまで卒業・学位認定が延期される。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

- ① 本学ホームページ「情報公開」
(<https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html>)、「教育情報の公表」、「1.教育研究上の基礎的な情報」、「(3) 教育目標と3つのポリシー」
(https://www.hcc.ac.jp/about/pdf/1_3.pdf)にて公開。
- ②本学学校案内冊子。本年度は『2021年度大学案内 東筑紫短期大学』。

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東筑紫短期大学
設置者名	学校法人東筑紫学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページ(情報公開)にて公表 https://www.knwu.ac.jp/about/finance.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページ「大学紹介」、「平成27年度(2015)年度 第三者評価結果」にて以下を公表 (https://www.hcc.ac.jp/about/pdf/jaca2015_01.pdf)。

- ・東筑紫短期大学「東筑紫短期大学 自己点検・評価報告書」平成27年6月。

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学ホームページ「大学紹介」、「平成27年度(2015)年度 第三者評価結果」にて以下を公表 (https://www.hcc.ac.jp/about/pdf/jaca2015_02.pdf)。

- ・一般財団法人短期大学基準協会「学校法人東筑紫学園 東筑紫短期大学機関別評価結果」平成28年3月。

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	東筑紫短期大学美容ファッションビジネス学科美容師コース 東筑紫短期大学美容ファッションビジネス学科ファッション・ビジネスコース 東筑紫短期大学保育学科 東筑紫短期大学食物栄養学科
教育研究上の目的 (公表方法： ①本学ホームページ「情報公開」 (https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html)、 「教育情報の公表」、「1.教育研究上の基礎的な情報」、「(3) 教育目標と 3 つのポリシー」 (https://www.hcc.ac.jp/about/pdf/1_3.pdf)、 ②本学学校案内冊子。本年度は『2020 年度大学案内 東筑紫短期大学』。)	
(概要)	<p>本学学生便覧に建学の精神に基づく以下の教育研究上の目的を策定し、ホームページ等で公開している。</p> <p>①美容ファッションビジネス学科 (学科共通)</p> <p>本学が設置された昭和 25 (1950) 年当時の学科は「被服科」であった。短期大学設置目的には「本学は高等学校教育の上に更に教養を高め、人格の完成をはかり特に衣生活の合理性に基づき、その世界的表現技術及び創造能力を授け以って生活文化の向上に寄与する実力ある女性を育成することを目的とする」とある。その後、昭和 44 (1969) 年に服飾美術専攻課程を設置し、平成元 (1989) 年の生活文化学科への改称を経て、平成 18 (2006) 年度に現在の美容ファッションビジネス学科が設置された。その精神は現在の美容ファッションビジネス学科に引き継がれている。</p> <p>本学科は美容師コース、ファッション・ビジネスコースの 2 コースに分かれ、これまでの被服・ファッション教育の伝統を基盤に、さらに時代の要請にともないコンピュータ教育や美容 (ヘア、メイク、ネイル、アロマ、エステ) 教育を取り入れ可能な限りファッションの統合教育、トータル化教育を目指すものである。</p> <p>②保育学科</p> <p>本学科は昭和 29 (1954) 年に「保育科」として設置された。保育者としての在り方を本学の建学の精神である「筑紫の心」を基礎に、人間形成の最も大切な時期である幼児期を担うことのできる質の高い保育者を養成することが教育目的である。本学科では文部科学省管轄の教育職員免許法に定められた幼稚園教諭二種免許状と厚生労働省管轄の保育士資格が同時に取得可能である。そのため、この免許・資格の取得の実現に向け、幼稚園教諭・保育士としての一般教養と専門的知識を修得し、その応用的能力を伸ばすと共に人間関係を大切にする豊かな人格の完成に努め、広い視野から社会に対応し得る実践力を身につけた健全な保育者を育成することを教育目標としている。</p> <p>③食物栄養学科</p> <p>本学科は昭和 33 (1958) 年の開設以来半世紀以上にわたり本学の教育理念である</p>

実学教育を中心に据え、「食」のスペシャリストとしての実践的な栄養士の育成を目指してきた。その理念のもと、今日の「食」のあり方や高齢社会に起因して顕在化する様々な問題に実践躬行して取り組むことのできる栄養士として、家庭はもとよりあらゆる世代にわたる人々の健康づくり（食育）に寄与できる人材の育成を教育目標としている。

卒業の認定に関する方針

（公表方法：

- ①本学ホームページ「情報公開」（<https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html>）、「教育情報の公表」、「1.教育研究上の基礎的な情報」、「(3) 教育目標と3つのポリシー」（https://www.hcc.ac.jp/about/pdf/1_3.pdf）
- ②本学学校案内冊子。本年度は『2021年度大学案内 東筑紫短期大学』。）

（概要）

※様式第2号の3「4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。」再掲。

1. 卒業の認定に関する方針・公開

本学は建学の精神に基づく以下のディプロマ・ポリシーを定め、ホームページ、学校案内冊子、学生便覧等で公開している。

①美容ファッションビジネス学科

1) 美容師コース

1. 幅広い教養科目の学びを通して、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けている
2. 美容師専門分野を深く理解し、求められる職場において貢献できる実践力を身に付けている
3. 現代社会に求められる多様な技術を修得し、美容師業務に活用できる力を身に付けている
4. 美容師養成の中でさらに、美容師としての技術、ならびに美容に関わる職業人としての幅広い知識を身に付けている
5. 美容師養成の中でさらに、美容分野に深くかかわるスペシャリストとしての力を身に付けている

2) ファッション・ビジネスコース

1. 幅広い教養科目の学びを通して、自らの資質を向上させ、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けている
2. 現代社会に求められる多様な知識や技術を修得することで、社会生活における活用能力を身に付けている
3. ファッション専門分野を深く理解し、基礎知識及び技術を修得することで、就業に向けた実践的能力を身に付けている
4. ファッション分野を主軸としたスキルアップを図ることで、求められる職場での幅広いアプローチ能力を身に付けている
5. ビジネス専門分野を深く理解し、基礎知識及び技術を修得することで、就業に向けた実践的能力を身に付けている

6. ビジネス分野を主軸としたスキルアップを図ることで、求められる職場での幅広いアプローチ能力を身に付けている

②保育学科

本学科では、東筑紫短期大学が定める学科の教育目標を達成するために設定した教育科目を履修させるとともに、各免許や資格に必要な単位を修得させます。そして、以下のような資質や能力を備えた学生に短期大学士（保育学）の学位を授与します。

1. 本学の建学の精神である「筑紫の心」－勇気・親和・愛・知性の四つの心－を基に、使命感、協調性、教育的愛情をもって、地域社会に貢献しようとする人
2. 子どもを理解し、支援する保育者として求められる職業倫理観や保育に関する基礎的・基本的な事項など専門的な能力を修得している人
3. 必要な専門的知識・技能とその活用能力やコミュニケーション能力を生かし、さらに保育者としての自覚をもって子どもの自己特性を大切にした対応ができる人
4. 子どもを取り巻く家庭や地域との連携・協力の重要性を理解し、質の高い保育の実践を求めて学び続ける人

③食物栄養学科

本学科の教育目標を達成するために栄養士免許取得に必要な科目を履修し、以下のような要件を満たす者に短期大学士（食物栄養学）の学位を授与します。

1. 幅広い教養科目の学びを通して、社会人として求められる豊かな教養、人間性、社会性を身に付けている
2. 栄養士専門分野を深く理解し、求められる職場において貢献できる実践力を身に付けている
3. 現代社会に求められる多様な技術を修得し、栄養士業務に活用できる力を身に付けている
4. 栄養士養成の中でさらに、小・中学校の栄養教諭としての資質を身に付けている
5. 栄養士養成の中でさらに、医療秘書実務士としての技術、ならびに医療に関わる職業人としての幅広い知識を身に付けている
6. 栄養士養成の中でさらに、食分野に深く関わるスペシャリストとしての力を身に付けている

2. 卒業の認定に関する適切な実施状況

各学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、本様式第2号の3「2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。」に記載した通り、本学履修規定および成績考査規定、学位規定等に則り卒業判定会議を実施。当該基準を満たさない学生は、基準を満たすまで卒業・学位認定が延期される。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：

- ①本学ホームページ「情報公開」 (<https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html>)、「教育情報の公表」、「1.教育研究上の基礎的な情報」、「(3) 教育目標と3つのポリシー」 (https://www.hcc.ac.jp/about/pdf/1_3.pdf)、
②本学学校案内冊子。本年度は『2021年度大学案内 東筑紫短期大学』。)

(概要)

本学各学科は建学の精神に基づく以下のカリキュラム・ポリシーを掲げている。

①美容ファッションビジネス学科

1) 美容師コース

1. 美容師としてはもちろん、社会人として求められる豊かな教養や人間性、社会性を養う
2. 美容師として必要なヘア、メイクアップ、エステ等美しさへの探求、審美眼を培う
3. 接客・接遇のためのコミュニケーションやプレゼンテーション力を培う
4. サロン経営に必要な社会学、ビジネス実務等を学ぶ

2) ファッション・ビジネスコース

1. ファッションに興味がある人、ビジネスに興味がある人、それぞれが自由に興味がある科目を選択し、最終的には資格取得につなげていくカリキュラム編成
2. ファッションに興味がある人はファッションの基礎から応用の技術まで専門分野を幅広く学ぶことができる
3. CGを使い、自由で多様なデザインを学ぶ。また、ヘア、メイクアップ等トータルファッションを学びその成果をファッションショーで発表する
4. ビジネスに興味がある人は、秘書関係科目や情報関係科目を学び、多くの資格を取得し、職場で求められる実践力を身に付ける

②保育学科

本学科では、豊かな人間性と実践力のある質の高い保育者を養成します。そのために、建学の精神「筑紫の心」 勇気・親和・愛・知性と幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針等との関連性を理解し、以下のような観点から一般教育科目、専門教育科目を有機的に結びつけ体系的な教育課程を編成・実践します。

1. 基礎的な一般教育科目、専門教育科目、免許・資格取得に関する科目、保育の応用・実践科目等を体系的に配置します
2. 必要な単位を修得することで短期大学士（保育学）をはじめ、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格、レクリエーション・インストラクター資格、認定ベビーシッター資格、こども音楽療育士資格等を取得することができます
3. キャンパス内にある認定こども園東筑紫短期大学附属幼稚園との連携を密にし、保育現場で役立つ実践力を身につけることができる教育課程を編成・実施します
4. 本学科では、教育課程内ではもちろんのこと、教育課程外での行事教育や各種取組（入学前のピアノレッスン、補完指導等）を積極的に行い、学生の支援

に努めます

③食物栄養学科

1. 短期大学士としての一般教育科目や栄養士免許規定科目を全員が無理なく履修できるようにカリキュラムが組まれている
2. 栄養と健康の関係について専門的な知識を養うと共に、調理技術等を徹底修得するために多くの実験、実習科目を設置している
3. 本学科の正規の授業を履修することで「栄養士」免許と「栄養教諭二種」免許または「医療秘書実務士」等の資格が取得できる。栄養士養成に関連した授業と他の免許や資格取得のための授業が2年間で効率よくカリキュラムに組まれている
4. 学外実習として現場での実習は応用力の修得のみならず、自分の適性に合った職場を考える機会となる。病院、施設、保育所などから選択する給食実習や小学校での給食実習、さらには栄養教諭としての教育実習や医療事務の実習が組まれている

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：

- ①本学ホームページ「情報公開」 (<https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html>)、
「教育情報の公表」、「1.教育研究上の基礎的な情報」、「(3) 教育目標と3つのポリシー」 (https://www.hcc.ac.jp/about/pdf/1_3.pdf)、
- ②本学学校案内冊子。本年度は『2021年度大学案内 東筑紫短期大学』。)

(概要)

本学各学科は建学の精神に基づく以下のアドミッション・ポリシーを定めている。

①美容ファッションビジネス学科（2020年度より募集停止のため割愛）

②保育学科

本学科では、幼稚園教諭や保育士等、子どもの成長を育み支援する人材の育成を目指しています。保育や幼児期の教育に関心をもち、学ぶ意欲のある学生を求めます。

1. 建学の精神（勇気・親和・愛・知性が調和する人間性を養う人格教育）に賛同する人
2. 保育者になろうとする強い意志をもち積極的に学び、努力を惜しまない人
3. 子どもが好きで、子どもと積極的にかかわり理解しようとする意欲がある人
4. 豊かな感性とコミュニケーション能力、温かな愛情をもって子どもの健やかな成長を支援しようとする人
5. 将来、認定こども園や幼稚園、保育所、児童福祉施設等で働き、社会貢献しようとする人（幼稚園教諭や保育士等は、多様な分野の知識や技能が必要です。従って高校時代においても、幅広く学び、各教科の基礎的内容を身に付け、問題解決に自ら進んで取り組むことを期待します。)

③食物栄養学科

本学科では生きる基本である「食」を通して人々の健康づくりに貢献できる栄養

士を目指しています。よって、食物栄養学科では以下のような学生を求めます。

1. 建学の精神（勇気・親和・愛・知性が調和する人間性を養う人格教育）に賛同する人
2. 現代社会で求められる「食」のプロとして社会に貢献したいという熱意を持つ人
3. 「食」や「健康」に対して強い関心を持ち、主体的に学習する意欲を持つ人
4. 子どもの食生活の大切さについて関心を持ち、栄養教諭を目指す人
5. 「医療」や「福祉」にも興味関心があり幅広く学ぼうとする意識を持つ人
6. お互いの役割を理解し合い協調性をもって取り組むことができる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページ、「情報公開」(<https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html>)、「教育情報の公表」、「2.教育研究上の基本組織に関する情報」、「(1)組織図」にて公開(<https://www.hcc.ac.jp/about/organization.html>)。

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					人
美容ファッションビジネス学科	—	2人	1人	3人	0人	1人	7人
保育学科	—	6人	3人	4人	2人	0人	15人
食物栄養学科	1人 (再掲)	3人	3人	2人	0人	0人	8人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
1人			0人				1人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学ホームページ、「情報公開」 (https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html)、「教育情報の公表」、「3.修学上の情報等」、「(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績」、「各教員の学位・業績」にて学科ごとに公表（令和2年度は7月以降公表予定）。 ①美容ファッションビジネス学科 ②保育学科 ③食物栄養学科					
c.FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>学部では週1回から都度学科会議を開催。とくに学生の修学ないし生活姿勢等に問題が生じた場合は、クラス担任、学年主任、学科、学生部が連携し、本人や保護者と面談を行うなどして連携をとっている。この過程で学生部長や学部長、学年主任などベテラン教員が新任者などを導き、教科や生活面における指導力の向上を図っている。</p> <p>また、年2回程度、大学・短大の全教職員を対象にFD研修会を開催。上記等の具体的な事例を検討・共有することで、学校全体の指導力向上、認識共有を図っている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
美容ファッションビジネス学科	人	人	%	50人	32人	64.0%	0人	0人
保育学科	150人	140人	93.3%	300人	279人	93.0%	0人	0人
食物栄養学科	70人	72人	102.9%	170人	134人	78.8%	0人	0人
合計	220人	212人	96.4%	520人	445人	85.6%	0人	0人
(備考) 小数点第二位を四捨五入。美容ファッションビジネス学科は2020年度より募集停止、食物栄養学科は2020年度より定員数を100名から70名に削減。								

b.卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
美容ファッションビジネス学科	29人 (100%)	2人 (6.9%)	19人 (65.5%)	8人 (27.6%)
保育学科	129人 (100%)	6人 (4.7%)	122人 (94.6%)	1人 (0.7%)
食物栄養学科	64人 (100%)	10人 (15.6%)	53人 (82.8%)	1人 (1.6%)
合計	222人 (100%)	18人 (8.1%)	194人 (87.4%)	10人 (4.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
①美容ファッションビジネス学科		<進学先>福岡理容美容専門学校ほか <就職先>(株) ミュゼプラチナムほか		
②保育学科		<進学先>東筑紫短期大学保育学科専攻科 <就職先>トヨタ自動車九州(株)、(学) 田 淵学園長行幼稚園、(社福) 高塔会児童養護施設 暁の鐘学園ほか		
③食物栄養学科		<進学先>九州栄養福祉大学、岐阜女子大学ほか <就職先>(株) LEOC九州事業所、(一財) 平成紫川会小倉記念病院、(社福) 穂波学園ほか		
(備考) 小数点第二位を四捨五入。				

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
美容ファッションビジネス学科	29人 (100%)	29人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
保育学科	140人 (100%)	129人 (92.1%)	4人 (2.9%)	7人 (5.0%)	0人 (%)
食物栄養学科	69人 (100%)	64人 (92.8%)	2人 (2.9%)	3人 (4.3%)	0人 (%)
合計	238人 (100%)	222人 (93.3%)	6人 (2.5%)	10人 (4.2%)	0人 (%)
(備考) 小数点第二位を四捨五入。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

※様式第2号の3「1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。」の再掲。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

・授業計画書(シラバス)の作成過程

担当部署：教務部教務課

①当該年度の前年度1月

専任および兼任教員にシラバス作成の告知

②同～2月

新シラバスの原稿回収および編集

③同～3月

各学部学科長および教務部教務課担当者による確認・校正

→授業内容や回数、担当者が省令ならびに本学カリキュラムポリシー(※)を満たすか確認。

④新年度4月

入学式後のオリエンテーションにて公開。

→本年度より学生専用ポータルサイト UNIPA にて電子公開。

冊子媒体としては配布せず。

→本年度は休業要請に伴い、全体の公開は4月末および5月初日に行った。

※カリキュラム・ポリシーについては様式第2号の4における「教育課程の編成及び実施に関する方針」にて後述。

・授業計画書(シラバス)の主な内容

①科目・担当者名、実務家教員の別

②授業形態(必修/選択の別等)、開講学年・学期、単位数、ナンバリング(カリキュラムマップに沿った当該科目の位置づけ)

③授業概要、到達目標

④授業計画とその事前事後学習に関する指示

(当該回の概要や事前事後で行うべき学習内容・時間等)

⑤評価方法(試験/レポート/実技等の別、総合評価の場合は評価方法の内訳)

⑥テキスト、参考図書

⑦担当教員から受講者への履修に関するアドバイス

⑧オフィスアワー等

※カリキュラム・ポリシーについては本申請書「教育課程の編成及び実施に関する方針」にて後述。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

※様式第2号の3「2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。」の再掲。および「3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。」の再掲。

①学修成果の評価および単位認定等について

試験等により科目担当教員が成績を判定したのち、学科ごとに集約。学期末および追再試等の後、学科会議にて最終的な単位認定を行う。

各年度末には成績判定会議（卒業年次は卒業判定会議）を行い、進級や卒業要件について判定。判定には東筑紫短期大学『学生便覧』に記載する本学履修規定および成績考査規定、学位規定等が用いられる。

②学習意欲の把握について

1) 学科レベル

クラス担任制を採用しており、学生の出欠については科目担当教員、担任、教務課員と常時連携、欠席や遅刻が複数回にわたる場合は警告等を行う。

学科独自の施策としては、学期の中途に都度当該年度の修得単位状況やGPAを集計。各学生の履修・成績状況を把握し、本人および保護者へ通知する。履修状況や学習意欲の低下が見られる場合は、個別に指導を行う（保護者参加もあり）。

2) 大学レベル

年度末、教務課から本学所定「成績通知書」を保護者に発送。当該年度までの成績状況を通知し、各家庭との連携に努めている。

また、各学期末にはすべての開講科目で授業評価アンケートを行う。学生による教員評価だけでなく、授業理解度などの評価項目を設定し、自己の学修状況に関する振り返りにも活用している。同アンケートは、集計の後、本学図書館に一般開架しており、自由に閲覧できる。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

①概要

本学学生便覧における「履修規定」の一部として「GPA制度について」の項目を設定。GP（グレード・ポイント）、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）値の算出方法や活用方法を明記している。

②算出方法

$$GP = \frac{100 \text{ 点法による評点} - 55}{10}$$

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{当該学期の【履修登録した科目の GP} \times \text{単位数】の総和}}{\text{当該学期の【履修登録した科目の単位数】の総和}}$$

通算 GPA = $\frac{\text{入学時から今学期までの【履修登録した科目の GP} \times \text{単位数】の総和}}{\text{入学時から今学期までの【履修登録した科目の単位数】の総和}}$

③指標の実施・活用方法

各種表彰や CAP の規定緩和、本学独自の特待制度における条件継続の判定資料として、また既述の「成績通知書」における通知資料として活用。

学修面では、各学期 GPA の継続不良者に対し学長ほか教員による指導理由となるほか、本年度以降、修学支援に関する根拠資料としても活用される。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	美容ファッション ビジネス学科 美容師コース	62 単位	○・無	年間 48 単位
	美容ファッション ビジネス学科 ファッション・ ビジネスコース	62 単位	○・無	年間 48 単位
	保育学科	62 単位	○・無	年間 48 単位
	食物栄養学科	62 単位	○・無	年間 48 単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)		公表方法： 個人情報にあたるため個別の具体的な数値は公開していないが、本学学生および保護者に対しては特待などの学費優遇制度、学長や学会等の表彰・指導対象に活用される旨、学生便覧や日常の指導で公開・伝達している。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： 個人情報にあたるため個別の具体的な数値は公開していない。ただ、GPA 分布等は指導や表彰など必要が生じた際、都度、最新のデータを出力し、活用している。		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ「情報公開」(<https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html>)、「教育情報の公表」、「1.教育研究上の基礎的な情報」、「(5)校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境」、「キャンパスマップ」及び「学習環境、運動施設等の概要 学内施設・設備」にて公表。

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
	美容ファッション ビジネス学科	630,000円	230,000円	300,000円	教育充実費、実験実習維持費
	保育学科	630,000円	230,000円	300,000円	教育充実費、実験実習維持費
	食物栄養学科	630,000円	230,000円	300,000円	教育充実費、実験実習維持費
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a.学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学では開学時よりクラス担任制度を実施している。各学科の教員がクラス担任となり、学生との面談や、クラスごとに配布される「学修日誌」を通じて学生の学修状況、学修姿勢等の把握に努めている。</p> <p>各科目担当教員は、授業時間以外は原則として研究室に待機して学生からの質問及び相談を受付けているが、別途オフィスアワーを設定し、確実に在室することを広くアナウンスしている。また、各学科において「推薦入学」試験合格者を対象とした「入学前教育」、希望者を対象とした「リメディアル教育」による初年次教育を実施し、専門知識の修得に必要となる基礎知識全般の補習教育を行っている。</p> <p>学修支援及び授業支援に対する学生からの意見を汲上げる仕組みとしては、前述の「学修日誌」に加え、「学生による授業評価アンケート」及び「学科における学生支援満足度・評価アンケート」を実施している。アンケートの集計結果は科目担当教員及びクラス担任をはじめとする学科教員にフィードバックされ、学修支援及び授業支援の体制改善に役立てられている。</p> <p>経済的な支援については、「学生指導課」において奨学金希望学生が漏れなく受給できるように、説明会を定期的で開催している。また、経済的理由により所定の期限までに学費の納入が困難な場合に、納入期限の延長や分割納入を認めるなど、修学継続に向けた支援を行っている。</p>
<p>b.進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>進路支援については、教員組織として教授会に「厚生委員会」を設置し、就職・進路支援等に関する協議、意見交換を行っている。また、各学科での「学科会議」においても必要に応じて意見交換を行っている。</p> <p>事務組織としては、「就職指導課」が「就職対策特別講座」「公務員講座」を企画・運営しているほか、様々な学生の進路・就職に関する個別相談も受け付けている。求人情報をはじめとする就職関連情報は「就職支援システム」に集約され、学生が学内外から自由にアクセス可能となっている。</p>
<p>c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生の健康管理については、保健室看護師が学生の健康維持に努めている。怪我や体調不良等への応急処置、近隣の医療機関との連携、学生からの健康相談に対応する</p>

と共に、クラス担任及び「厚生委員会」「学生指導課」と連携し、インフルエンザをはじめとする感染症の予防、早期発見に努めている。年度初めのオリエンテーション時に全学生を対象とした健康診断を実施し、学生の健康状態の把握に努めると共に、診断結果を通知し各自の健康管理意識を喚起している。

精神的問題を抱える学生を支援するため、「カウンセリングルーム」を開設し、臨床心理士が相談者の意志、プライバシー保護を第一に、自ら解決を図ることができるよう支援を行っている。

ハラスメント防止に向けては、ハラスメント防止に関する規程を制定すると共に「ハラスメント防止委員会」を設置し、啓発を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページ、「情報公開」(<https://www.hcc.ac.jp/about/disclosure.html>)、「教育情報の公表」、「3.修学上の情報等」、「(1) 教員組織、各教員が有する学位及び業績」、「各教員の学位・業績」において学科毎に公表（令和2年度は7月以降公表予定）。

- ①美容ファッションビジネス学科
- ②保育学科
- ③食物栄養学科